

令和3年3月19日

## ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019 表彰式を開催

～祝！最優秀賞、美しい景観づくり賞受賞！～



シーニックバイウエイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」は「函館新道『花いっぱい活動』及び『シーニックdeナイト』」により「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」**最優秀賞、美しい景観づくり賞**を受賞したので、表彰式を以下のとおり開催します。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトはシーニックバイウエイ北海道の活動で、他の模範となり将来への発展性が高く評価出来る活動を選出、表彰する取組として平成20年度から実施しています。

令和2年11月13日に開催された「第17回シーニックバイウエイ北海道推進協議会」において最優秀賞、美しい景観づくり賞を受賞した函館・大沼・噴火湾ルートの表彰式を行うところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止から延期しておりました。

傍聴・取材を希望される報道関係者の方は、当日、函館開発建設部までお越しください。

### 記

日 時 令和3年3月24日（水）16：00～16：20

場 所 函館開発建設部 4階 災害対策室A

内 容 「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」表彰式

※前年度の表彰式の状況はこちらをご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/kouhou/splaat000001mkkd-att/splaat000001pxax.pdf>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策としてマスクの着用、3密の回避、消毒液の設置、体温測定などを実施いたします。

【シーニックバイウエイ北海道とは・・・】

みちをきっかけに地域と行政等が連携し、『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定13ルート、候補3ルートの約440の団体が活動しています。詳細は、シーニックバイウエイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_kei/ud49g700000nOut.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000nOut.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

特定道路事業対策官 かたおか としゆき 片岡 敏行 (0138) 42-7629 (内線325)

広報官 さいとう ひとし 齊藤 整 (0138) 42-7702 (内線216)

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>





HOKKAIDO®

# ベスト・シーニックバイウエイズ プロジェクト2019 受賞プロジェクト一覧

受賞部門	プロジェクト名	ルート名
 <b>最優秀賞</b>	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (美しい景観づくり賞)	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (活力ある地域づくり賞)	「みらいの森」育樹プロジェクト	支笏洞爺二セコルート
 部門賞 (魅力ある観光空間づくり賞)	きた北海道エコ・モビリティの推進R3プロモーション動画の作成	天塩川シーニックバイウエイ/ 宗谷シーニックバイウエイ
 活動団体賞	地域住民と道路管理者の地域協働による板割拡幅記念植樹区間景観保全活動	札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルート

活動名称

～「はこだて花かいどう」での一年を通じた継続的な取組み～  
函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」

エントリー部門

美しい景観づくり

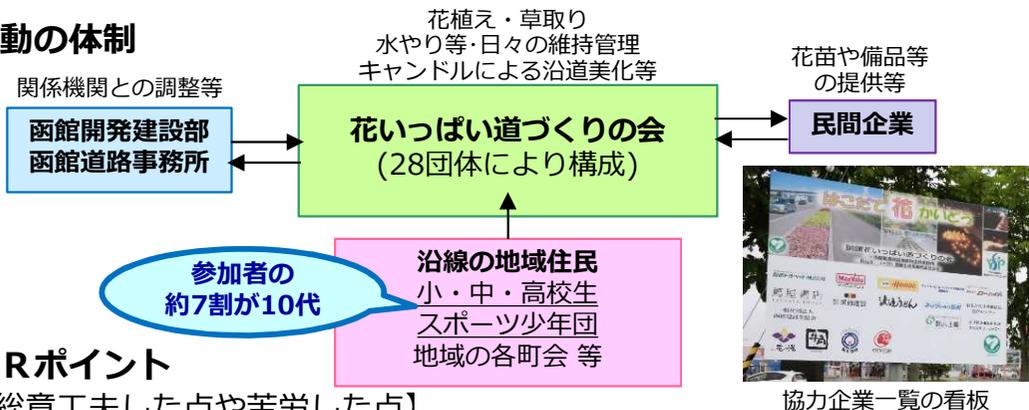
ルート名称

函館・大沼・噴火湾ルート

①活動概要(目的・目標、具体的な取組み等)

- 活動の目的・目標：
  - ・道ゆくドライバーや函館を訪れた国内外の観光客の方々に「綺麗なお花」を見て、旅の疲れを癒し、喜んでもらいたいという**おもてなしの取組み**。
  - ・加えて、道路管理者及び沿道の民間企業等とも連携し、綺麗な道の維持管理活動等を通じて、**ボランティアの相互協力関係の構築**を目的とする。
- 活動内容：
  - ①植樹木の土起こし(毎年、5月下旬)
  - ②植樹木への植栽(毎年6月の第2土曜日)
  - ③植樹木の草取り・水やり(毎月第2土曜日 ※月1～2回)
  - ④花の撤去活動(毎年10月の第4日曜日)
  - ⑤ワックスキャンドル製作体験会(毎年12月～1月下旬)
  - ⑥道路沿道へのキャンドル設置・点灯(毎年2月上旬)
- 活動期間：平成16～令和元年度 **※継続展開中**  
・実施場所：国道5号 函館新道インターチェンジ付近の植樹木

②活動の体制



③PRポイント

- 【総意工夫した点や苦労した点】
- ・函館の玄関口でもあり地域としても大切な場所である函館新道の価値を高めるべく、**10年を越えて継続的に国道沿道の維持管理活動を実施**。
  - ・**地域・民間企業・道路管理者等の連携体制が十分に**図られている。
  - ・**事務局が個別に小中高校を訪問、熱意を伝え、多くの参加に**繋がった。
  - ・**協力企業等を掲載した統一看板を設置により協力体制の見える化が**図られ、**出資企業が増加し、企業のイメージアップと資金収集に**繋がった。

【活動による効果】

- ・夏期(5～10月)だけではなく、冬期(2月)は函館新道沿線をキャンドルで彩る「シーニックdeナイト」にも発展し、**年間を通じた沿線の美化活動に**貢献。
- ・**活動参加者の継承**(中学生が親世代となり親子二代で参加)と**地域愛着の醸成**。
- ・**民間企業**(スーパー、大型量販店等)との**連携体制の強化**。

<夏期沿道活動「花いっぱい活動」植栽及び維持管理活動>

植樹木の土起こし(5月下旬)⇒植栽(6月上旬)⇒草取り・水やり等(毎月第2土曜日)を10月下旬まで継続的に実施。花植えには、平均800名、毎月の維持管理には、100名程度が参加する。



満開時の「はこだて花かいどう」の様子

<冬期沿道活動「シーニックdeナイト」～ワックスキャンドルで灯りと心をつなぐ～>

ワックスキャンドル製作体験会(12月～1月下旬)⇒キャンドル設置・点灯(2月上旬)を実施。ワックスキャンドル製作体験会は12箇所で開催(函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・森町・八雲町)。キャンドル設置・点灯には、毎年、約400名程度が参加する。



“一年を通じた函館新道での活動”を通じて、**地域への愛着醸成**や**参加者間の交流促進**に大きく寄与している。

# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

平成20年度よりシーニックバイウエイ北海道の推進に向けて、他の模範となるルート活動であり、将来への発展性が高く評価できる取り組みを選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト」の取り組みを実施。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2018  
 どうなん道の駅連携事業  
 (どうなん・追分シーニックバイウエイルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2017  
 ～地域・電線管理者と連携した「電線の見えない化」～  
 ビューポイントパーキングの景観改善 (電線移設)  
 (支笏洞爺二セコルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2016  
 いにしえ街道の景観を活かした街づくり  
 (どうなん・追分シーニックバイウエイルート)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2015  
 そらの森の植樹活動～地域で育てる森プロジェクト～ (釧  
 路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2014  
 「ライフコンシェルジュ (ご当地風土アドバイザー)  
 育成事業」 (トカプチ雄大空間)



ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2013  
 「タカラモノプロジェクト」 (支笏洞爺二セコルート)



# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

## ▼各賞決定までの流れ

募集開始

各ルートから活動の応募

### ■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出

### ■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出

推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019のエントリー状況等

## <表彰>

●活動団体賞1件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 16件】

●部門賞3件（指定ルートを対象）

### <エントリー部門>

- ①美しい景観づくり賞 【エントリー数 4件】
- ②活力ある地域づくり賞 【エントリー数 4件】
- ③魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5件】

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2019」1件（指定ルートを対象）  
部門賞の中から1件選出

## <評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度の評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取り組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成